

2月例会を終えて

主幹 会員拡大・会員開発委員会 委員長 熊谷勝弥



会員拡大・会員開発委員会、会員開発委員長熊谷勝弥です。

この度2月9日に2017年度2月例会物事の本質を見極めよう～JCを企業へ～と題して

背景・目的・手法の捉え方、背景・目的・手法の重要性について当青年会議所メンバーでもある蜂谷悠介議長、鈴木陽介副議長に講師となっただき青年会議所活動で学んだ物事を企業に活かした事例の紹介、昨年行った青少年育成事業の紹介を分かりやすく、楽しく行っていただきました。

また、今回の例会では15名と多くのオブザーバーの方々にも参加していただきました。

お声掛けいただいたメンバーの皆さんありがとうございました。オブザーバーの方々には青年会議所メンバーと共に一緒に学んでいただき、青年会議所とは何を行っている団体なのか知っていただくきっかけになったのではないかと思います。

私自身委員長も例会設営も初めてで理事会メンバーの方々には時に厳しく、時には厳しく、たまに優しくご指導をいただき私自身多くの学び、気づきを得ることができました。

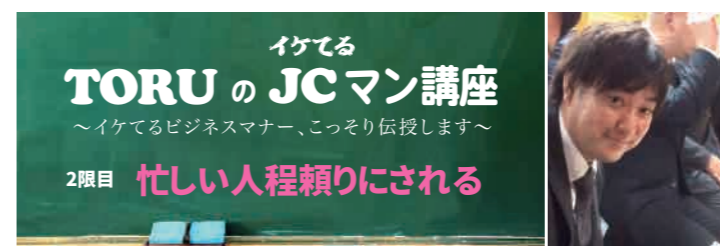


理事長の今月の格言

心を込めて 心を尽くして 心を伝える*

© 金子正勝先輩（大船渡JC第44代理事長）

※一般社団法人大船渡青年会議所2012年度スローガンより一部抜粋



生まれた環境や年が違っても時間だけは平等です。家庭があり仕事がありJCもあり…皆さんそれぞれが忙しいのです。

JCには委員会や会議や提出物の締め切りなど時間を守る機会がたくさんあります。時間を守る人は頼りにされます。頼りにされるからますます忙しくなります。忙しくなると業務をこなしていかなければならないので仕事やJCをやる早さや効率が上がります。そうすると同じJCの組織に居るのに人との経験は倍くらい違ってきます。

JCは人を育てるといいますが、忙しいのをこなしていくと仕事の質が上がり、決断が速くなり、その人がいる会社は元気になっていきます。

ある意味、人を成長させる場所ですね(u)

入会した時の自分よりも少しでも成長して送り出してもらった職場や企業がJCに入れて良かった!入ってよかった!と思える団体にしていきたいですね!



2月11日は毎年、天下の奇祭大原水かけまつりに参加している。今回で12回目だ。私にとっての「こじらせ」の一つである。今回は、2日前に胸を強打し肋骨にヒビが入っていたのだが無理やり参加した。今もまともに寝られない位痛い。過去にも風邪をひいて熱があったり腰を痛めていたりしても無理矢理参加している。それはなぜか!?答えは簡単、ヘタレと思われたくないから!ただそれだけである。長年参加していると楽しみもたくさん増える。地元の方々の温かいおもてなしの気持ちだったり、一年に一回お会いできる方々だったり、メディアの写真や映像への映りかただったり、初めて参加する人のビビりを観察したり。そんなこともモチベーションの一つになっているのかも。今では、全然知らない人に「今年も出るんですか?」って声をかけられたりする。仕事のにもいいネタになる。継続は力なり!まさにその通りだ。JC活動だっってそうかもね!

第2回 浅野流



最近は職場の男性と子供にしか渡ってなかったら、夫に昨年言われました「俺には?」って(△; /)「欲しいんかい!!」と心の中で叫びましたよ。どうやら男の人は長年連れ添った夫婦であっても、バレンタインは大切なイベントなんです(・ε・)男子の事より(よくない?)世の娘を持つママにとってバレンタインで一番大変なのは「友チョコ」ではないでしょうか?毎年、仲の良いお友達同士で手作りのお菓子を交換。お友達から手作りの物を頂きますからこちらとしても作らないといけない…(≡ε≡)小学6年の娘をもつ私も、毎年「何を作るか・ラッピングはどうするか」と娘に相談されながら「そんなのダメ。そんなの可愛くない。」と、結局しゃり出て一緒に作り、お友達のお家まで何個も届けるという(学校内で渡す事は禁止)ちょっとしたサタ気分のイベントがやってきます(∩ω∩ そんな今年は簡単&可愛い「スプーンチョコ」に決まり!(≡▽≡)ゞ



青年会議所 JCとは

青年会議所(JC)は“明るい豊かな社会”の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの青年の団体です。人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。日本の青年会議所運動は、現在697の地域約36,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中核は国際青年会議所ですが、100以上の国及び地域に117のNOM(国家青年会議所)があり、約16万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導力の開発を推し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。